

ポノポノ・ポコポコ



-コンセプト-

リーフに囲まれた内海の大度海岸...

遙か遠くの大きな波のうねりは、いつしかさざなみとなり静かに打ち寄せてくる...

激戦地の証である生々しい砲弾で砕けた跡でさえも、自然は静かに取り込んでいる...

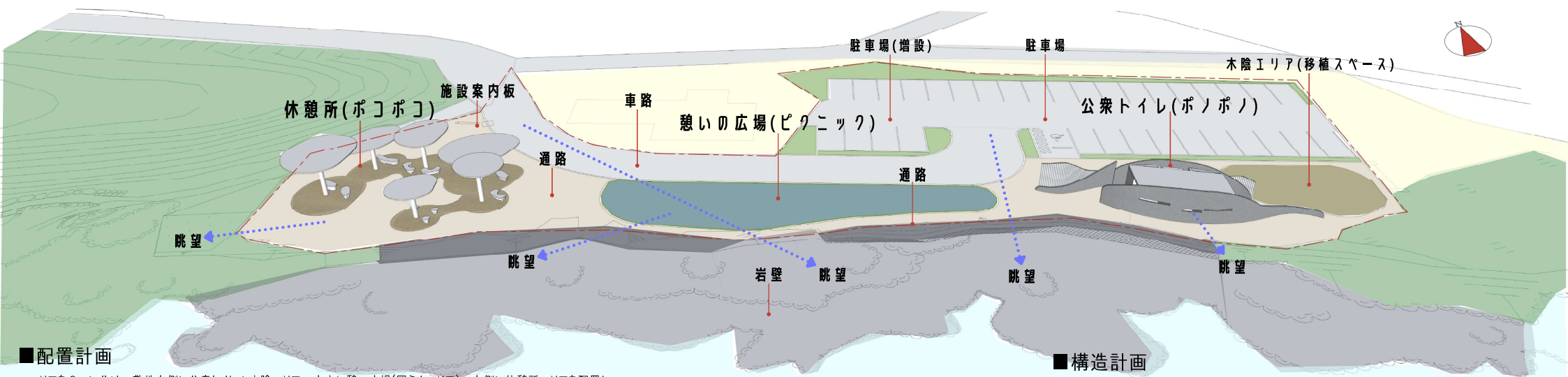
目の前に広がるリーフを歩き、足元を覗き見れば大小さまざまな潮だまりがあり、

愛くるしいさかなたちが泳ぐ小さな世界と、浅瀬のリーフを抜け水深がだんだん深くな

れば、色とりどりのサンゴ礁が広がる大きな世界。

最終戦地であったことを感じさせないくらい素晴らしい自然が残る大度の地に、

訪れる者たちが穏やかな気持ちとなるような、トイレと休憩所を提案します。



■配置計画

エリアを3つに分け、敷地右側に公衆トイレ+木陰エリア、中央に憩いの広場(団らんエリア)、左側に休憩所エリアを配置し、いずれの場所においても大度の海を開放的に眺められる計画とする。
 ピクニック利用者も多いことから、憩いの広場を敷地中央とすることで解放された空間計画とすることができる。
 新設トイレは施設利用者の目に付きやすい駐車場前方に配置することで、利便性に配慮した計画とし、休憩所は海への動線上にある左側へ配置することで、海への行きと帰りで利用しやすい計画とする。
 また既存トイレがあった場所は薄暗く、利用者の目に付きにくい場所であるため、解体後は駐車場として整備し駐車台数の増設を行う計画とする。

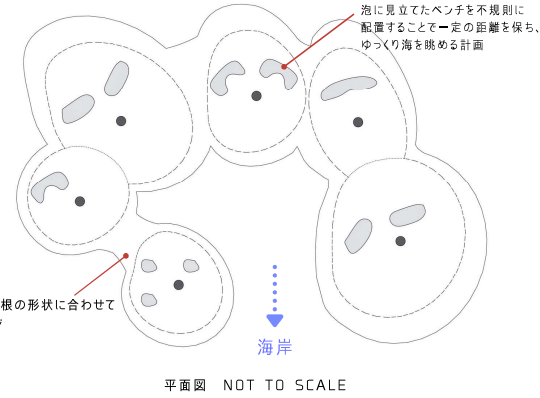
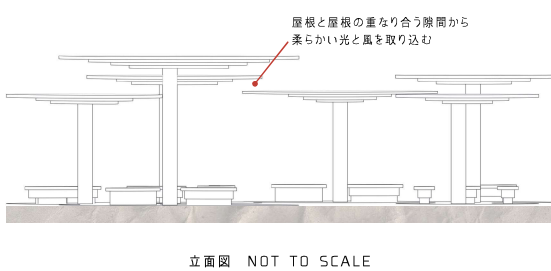
■構造計画

亜熱帯気候と常時海からの飛来塩分を伴った風が吹き付ける過酷な自然環境の沖縄。
 構造種別は、計画地の環境を考慮し、フライアッシュコンクリートによる鉄筋コンクリート造とする。
 既存建築のコンクリート劣化具合から、塩害や中性化による損傷を防ぐための配慮が必要と考え、防錆材入りポリマーセメント系防錆材・表面被覆材やアルカリ性付与・表面固化材などを設ける。

ポコポコ

■空に漂う建築「ポコポコ」

県内有数のダイビングスポット、サーフスポットである大度海岸は、多くのダイバーやサーファーをこよなく愛する人々の場所である。海中でダイバーたちから放出された泡が海の中を浮遊し『ポコポコ』と音を立てながら、結合と分離を繰り返し水面上がり重なり合っていく様を造形で捉え、RCの屋根を楕円形に不規則に配置し且つ部分的に重ねることで、海中での泡が地上で浮遊しているような計画としています。
 各々が独立性を持ちながらも、既存樹木のももたまのよう広がりを感じさせ、しかしながら海岸線を遮断させないよう空間に間を設けた計画としています。



■建物概要

- ・ 建築面積：45.00㎡
- ・ 床面積：45.00㎡
- ・ 高さ：2.30～4.50M
- ・ 構造種別：RC造(柱+フラットスラブ)
- ・ 基礎：直接基礎(独立基礎)

■仕上げ

- ・ 床：土間コンクリート洗い出し仕上げ
- ・ 柱：ビシャン仕上げ 光触媒塗装
- ・ 屋根：コンクリート金ゴテ押さえ 遮熱防水塗装仕上げ
- ・ ベンチ：木+木材保護塗料仕上げ

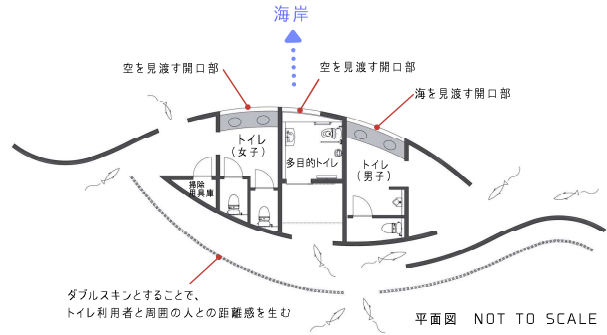
■建物計画

柱の上部にキャピタルを設けることで梁をなくして、スリムな柱とフラットスラブで構成されるシンプルで伸びやかな空間を演出。
 柱それぞれに対して独立基礎とし、それぞれ独立した建築とする事で地業範囲を狭めコストダウンを図る。
 ベンチはどの位置からも海岸線を眺望でき、プライバシーを適度に保つよう不規則に配置する計画とする。
 実施設計時にフラットスラブは有限要素法(FEM)解析を行い、応力・変形を精査し、安全性の確認を行う。

ポノポノ

■岩壁から隆起してきたような建築「ポノポノ」

海岸の「リーフ」を連想したならかな曲線は、同時に「さざなみ」を表し、人々を穏やかな気持ちにさせてくれるような建物を計画としています。外壁に沿って連続して配置した格子柱は、利用者と周囲の人との距離感を生み、魚たちが見え隠れするかのよう互いを感じつつも囲われたような安心感を与え、(見えるけど見えない、見えないのに見える)、内と外の間を意識した計画としながらも、大度の海を遮断せずに曲線部分から海を眺めることができる計画としています。
 ポノとは、物事や自然環境、人の精神状態など全てがちょうど良い状態のことを表す言葉であるため、平和であることの素晴らしさや尊さ、人が穏やかであることの美しさを建物から感じ取って頂きたいと思っています。

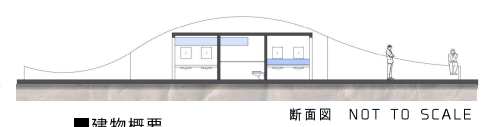
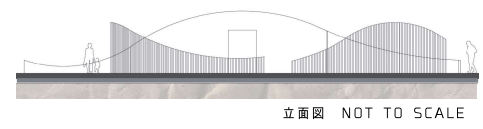


■建物計画

主構造は整形に近い形状とし、外に延びる外壁と縁を切る事で偏心を防ぎ、バランスのよい構造としています。
 基礎形状は表層から岩盤支持地盤までの深さが不明確のため、コスト面を考慮して布基礎として計画する。

■トイレ機能

- ・ 多目的トイレ：オストメス配慮、オムツ取替え台
- ・ トイレ(男子、女子)：ブース内にペーパーチェアを設置
手洗い場は小さな子供でも手洗いできるように高さを配慮



■建物概要

- ・ 建築面積：33.00㎡
- ・ 床面積：33.00㎡
- ・ 高さ：最高高さ3.30M
- ・ 構造種別：WRC造(壁式鉄筋コンクリート造)
- ・ 基礎：直接基礎(布基礎)

■内部仕上げ

- ・ 床：土間コンクリート洗い出し仕上げ
- ・ 壁：耐候性塗装仕上げ
- ・ 天井：耐候性塗料仕上げ

■外部仕上げ

- ・ 壁：ビシャン仕上げ 光触媒塗装
- ・ 屋根：コンクリート金ゴテ押さえ 遮熱防水塗装仕上げ
- ・ F B 格子柱：溶融亜鉛メッキ 腐食塗料仕上げ